

誕生!!「救急総合診療科」

～10月より 救急総合診療科が新たにスタート致します～



平成29年10月より「救急総合診療科」を新設することとなりました。

当院救急医療センターでは、地域の中核総合病院の救急窓口として、当院全科・全部署・全職種のご協力のもと、2県にまたがる医療圏で発症した1・2・3次救急患者様を幅広く、24時間365日いつでも受け入れることができるよう、最善の努力を重ねてきました。

そうしたセンターの顔を担うこととなる「救急総合診療科」という科名には、より一層「治療深識」なセンターを目指す、という思いを込めました。所属には、今まで脳神経外科医としてお世話になっておりました八十川が、専従の日本救急医学会認定専門医として従事させていただきます。皆様方には、今まで以上のご指導とご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

院内外関連部署との連携を円滑に行う役割として日々尽力してまいりましたが、さらには、病院前救護活動をより強化し、地域の皆様と病院の時間的距離を縮めることで、医療が1秒でも早く介入できるシステム作りにより新たに臨みます。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。



救急総合診療科 部長
八十川 雄図

所属学会	資格
・日本脳神経外科学会	・日本救急医学会:専門医
・日本脳神経外科コンgres	・日本脳神経外科学会:専門医
・日本定位・機能神経外科学会	・日本DMAT登録者
・日本神経外傷学会	・AMAT隊員
・日本意識障害学会	・AHA BLS インストラクター
・日本救急医学会	・ICLS認定コースディレクター
・日本集中治療医学会	・AHA ACLS インストラクター
・日本集団災害医学会	・認知症サポート医
	・MCLSインストラクター
	・ISLS認定コーディネーター

乳腺科特集 10月は乳がんの早期発見・早期治療を促す「ピンクリボン月刊」

Matsunami Information

NEWS

2017年 10月 15日

多忙な平日を
お過ごしの方々の皆様へ

**日曜日に
乳がん検査を
受けられる日です**

「ジャパンマンモグラフィーサウンダー(J.M.Sプログラム)」は、多忙な平日を過ごしておられる女性の皆様のために認定NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)が全国の医療機関に呼びかけた、「10月第3日曜日に全国どこでも乳がん・マンモグラフィー検査が受診できる環境づくり」への取組みです。

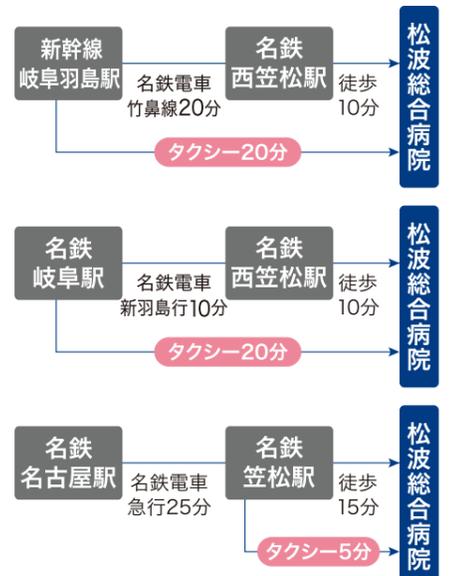
J.M.S
J.POSH
http://www.j-posh.com

当施設は JMSプログラム 登録医療機関です。 **10月15日(日)に乳がん検査を受診できます**

事前予約	必要です。	検査内容	コース① 専門医による触診・マンモグラフィー・乳房エコー	検査費用	コース① ¥8,640	コース② ¥4,320
受付時間	8:30～11:30		コース② 専門医による触診・乳房エコー			
定員	18名		※マンモグラフィー・乳房エコーは女性技師が対応いたします。			

当院での検査についてお問い合わせ・受付 **058-388-0111(代)** 病院備え付けの申込書にて受付しております。 まつなみ健康増進クリニック1階総合受付に直接お持ちいただくか、ご送付下さい。

交通のご案内



社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院

〒501-6062
岐阜県羽島郡笠松町田代185-1
TEL 058-388-0111(代)
FAX 058-388-4711
http://www.matsunami-hsp.or.jp/



10月は乳がんの早期発見・早期治療を促す「ピンクリボン月刊」

- がんは怖くない! 早期発見・早期治療 -

乳がん発症のピークは、働きざかりの40代後半



まつなみ健康増進クリニック長
花立 史香

略 歴

- 1985年 金沢大学 医学部 卒業
- 1990年 厚生連高岡病院 外科
- 1991年 国立静岡病院 外科
- 1996年 厚生連高岡病院 外科
- 1998年 小松市民病院 外科
- 2005年 公立穴水総合病院 外科
- 2005年 松波総合病院 外科 部長
- 2017年 まつなみ健康増進クリニック長

乳がんは、日本人女性の12人に1人がかかるといわれ、がん部位別死亡原因では、5位ですが、女性のがん罹患率の第1位となっています。しかし、乳がんは治りにくい病気ではありません。早期に発見治療をすると90%以上が治るとい結果も出ています。

発症のピーク年齢は、40代後半に発症することが多く、働きざかりの女性に多い病気です。

乳がんとは、乳がんの乳腺に発症する悪性腫瘍で、乳房のしこりや乳頭から黒い分泌物が出るなどの症状があります。また、種類は大きく分けて非浸潤がんと浸潤がんに分けられます。

非浸潤がんは、基本的には転移しないため、手術のみで治る可能性の高いがんです。浸潤がんは、転移の可能性があり、多くの場合、手術のみに頼るわけにはいかず、薬物療法(抗がん剤・ホルモン剤)、放射線治療等を用いて治療を行います。

乳がんの治療には、手術療法、薬物療法、放射線療法があり、これらを組み合わせて最大限の効果が期待できる治療を行います。基本は手術による乳房の腫瘍切除術による摘出ですが、再発リスクと術後の整容性を考慮しながら、乳房を全て切除する「全摘術」か、切除を周辺にとどめる「乳房温存療法」を選択します。当院では、不必要なリンパ節郭清を行わない為にアイントープ法と色素法のセンチメンタルリンパ節生検を行っています。

乳がんの3つの診断方法

1. 触診

診断の基本で、乳房全体(しこりの有無、大きさ、硬さ等)と脇の下のリンパ節の腫れを中心に診察します。

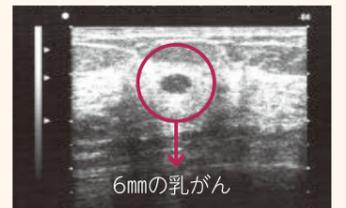
2. マンモグラフィー

触診で解らないような小さな腫瘍や石灰化像を発見するのに有効です。乳房を圧迫することで放射線の被曝量を減らし、かつ乳房の中の乳腺をより明確に透視できます。圧迫する際に多少の痛みが伴います。



3. 超音波検査

触診ではみつからないような小さな腫瘍やマンモグラフィーでも見つけられないような数ミリのしこりも捉えることができる場合があり、マンモグラフィーと相補的にを行います。



所 属 学 会

- ・日本外科学会
- ・日本消化器外科学会
- ・日本消化器内視鏡学会
- ・日本乳癌学会
- ・日本内視鏡外科学会
- ・日本胃癌学会
- ・日本癌治療学会
- ・日本臨床腫瘍学会
- ・日本大腸肛門病学会
- ・日本環境感染学会
- ・日本消化器病学会 日本臨床外科学会
- ・センチネルリンパ節研究会

資 格

- ・日本外科学会 指導医、専門医
- ・日本消化器内視鏡学会 専門医
- ・日本乳癌学会 乳腺専門医、認定医
- ・精度管理中央委員会認定マンモグラフィー読影医
- ・日本がん治療認定医機構 暫定教育医、がん治療認定医
- ・日本消化器外科学会 指導医、専門医、消化器がん外科治療認定医

失われた胸の膨らみを元に戻す「乳房再建」は、乳房喪失による肉体的・精神的な苦痛を軽減し、以下のようにQOLも改善されます。

QOL(生活の質)

- 乳房の喪失感が解消される
- 他人の視線が気にならなくなる
- パートナーと自然に接することができる
- 一般の下着を着用できる
- 子どもや孫と入浴ができる

当院では、乳腺外科と形成外科が密な連携を取りながら患者さんの状態を把握し、患者さんの話をお聞きした上で、最適な再建方法を選択しています。

再建方法の1つは「人工乳房による再建」です。胸の筋肉の下にやわらかいシリコン製の袋(人工乳房)を入れ、ボリュームを出します。胸以外に傷を残すことがなく、手術は短時間で済みますが、長期的には破損したり変形したりする可能性があります。もう1つは、自身の皮膚、脂肪、筋肉を移植する「自家組織による再建」で、背中や腹部の組織を移植する「広背筋皮弁法」と、腹部の組織を移植する「腹直筋皮弁法」があります。

前者は比較的乳房が小さい方、乳房温存手術で欠損する組織が少ない方などに用います。後者は乳房切除術で大きな組織の欠損を生じた場合や、乳房の大きな方に用いられます。身体的負担を伴いますが、やわらかく自然な乳房を再建できます。

失われた乳房を取り戻す「乳房再建」でQOL(生活の質)も改善



形成外科部長
北澤 健

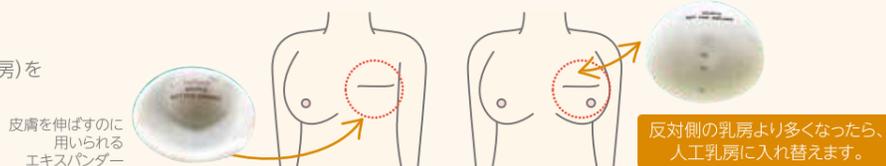
略 歴

- 1991年 弘前大学 医学部 卒業
- 1991年 信州大学医学部附属病院 形成外科
- 1993年 埼玉医科大学総合医療センター 形成外科
- 1996年 信州大学医学部附属病院 形成外科
- 1998年 長野赤十字病院 形成外科
- 2002年 信州大学医学部附属病院 形成外科
- 2004年 松波総合病院 形成外科 部長
- 2014年 信州大学 医学部 形成再建外科学教室 委嘱講師

2種類の乳房再建方法

1. 人工乳房による再建術

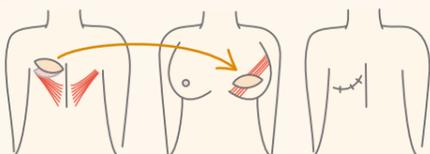
胸の筋肉の下にやわらかいシリコン製の袋(人工乳房)を入れてボリュームを出します。



2. 自家組織による再建

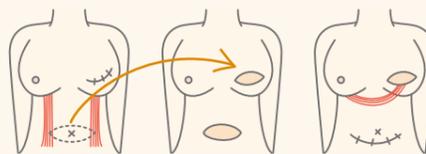
[広背筋皮弁法]

背中や腹部の皮膚、脂肪、筋肉を移植します。



[腹直筋皮弁法]

腹部の筋肉(腹直筋)に腹部の皮膚と脂肪をつけて移植します。



当院では、がんの切除と乳房再建を同時に行う即時再建(一次一期再建)が可能です

所 属 学 会

- ・日本形成外科学会
- ・日本手外科学会 / 国際手外科学会
- ・日本マイクロサージャリー学会
- ・国際形成外科学会
- ・日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会

資 格

- ・日本形成外科学会 認定専門医
- ・日本手外科学会 認定専門医
- ・乳房再建エキスパンダーインプラント 責任医師